

教科名	数 学	科目名	数学B（2年次）【2単位】	
授業形態	講義・演習形式			
選んでほしい生徒	「数学I」を履修済みで、大学への進学を希望している人			
科目の目標	ベクトル・数列について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 ベクトルの概念を理解し、基本的な図形の考察に活用できるようになる。 2 空間の概念を理解する。 3 簡単な数列を理解し、その和を求めることができるようになる。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】</p> <p>第1章 平面上のベクトル</p> <p>第1節 ベクトルとその演算</p> <p>第2節 ベクトルと平面図形</p> <p>【2学期】</p> <p>第2章 空間のベクトル</p> <p>【3学期】</p> <p>第3章 数列</p> <p>第1節 等差数列と等比数列</p> <p>第2節 いろいろな数列</p> <p>第3節 数学的帰納法</p>		<p>・平面上のベクトルについて理解し、平面図形に応用できるようにする。</p> <p>・座標空間、空間上のベクトルについて学習する。</p> <p>・等差数列・等比数列・数列の和などについて学習する。また、命題の証明に活用できる数学的帰納法についても学習する。</p>	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
	・ベクトル、数列または確率分布と統計的な推測に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトル、数列または確率分布と統計的な推測における数学的な見方や考え方を身に付けている。	・ベクトル、数列または確率分布と統計的な推測において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・ベクトル、数列または確率分布と統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 日々の授業を大切に、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 数学Iの知識を前提とするので、必要があれば復習しよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、教科書の例題などを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。 			
教材費	教科書 725円			
その他	特になし			